

平成29年度事業報告

I はじめに

平成29年度は、景気の緩やかな回復基調が続き、雇用状況も改善するなど、経済情勢は順調に改善している中ではありましたが、足元の個人消費はあまり伸びがみられず、また、地域経済の回復も実感が乏しく、就業開拓等においては、依然厳しい状況のもとでの事業展開となりました。また、公益法人としてコンプライアンスを意識した活動が求められていることから、厚生労働省から示された適正就業ガイドラインに沿って、引き続き適正就業の視点にたった請負契約の見直しを行った結果、一部は本年度より開始した派遣事業への移行ができましたが、契約の解除、発注者の直接雇用などの対応を余儀なくされ、契約額が大きく減少しました。

さらに、会員数については、定年延長や継続雇用による65歳未満の入会者の減少、また企業等の求人増などの影響を受け、新規入会者数が減少するとともに、病気、加齢等による退会者も一定数いたことから、全体の会員数は減少しました。

このような中で実施した平成29年度の主な事業ですが、まず、会員の増強については、一人一会員入会運動、女性対象入会説明会の開催などに取り組んだ結果、平成30年3月末現在の会員数は651名で、前年度と比較して28名の減となりましたが、減少幅は縮小してきております。

事業の受託状況については、就業開拓員を設置し、就業開拓委員会を中心に就業開拓に努めましたが、請負では、受託件数が5,019件と前年度比で2.9%の減となり、契約金額では、前年度比16.4%減の46,196千円となりました。契約金額が大幅に下回った要因については、前段で述べたとおりです。公民比については、公共が47.7%、民間が52.3%となり、民間が8.8ポイント減となりました。就業実人員は、前年度比8.3%減の551人、就業率は、会員数の減少により、前年度比3.9ポイント増の84.6%となりました。

一方、本年度から本格的に開始した派遣事業については、件数では請負からの切り換えが5件、新規受注が2件、合計7件で、契約金額については、21,330千円、就業実人員は32人となり、まずまずのスタートとなりました。

このほか、入会説明会の充実、派遣事業の推進、会員の資質向上や技術を高めるための各種研修会・講習会の実施、安全・適正就業の推進や、園芸チームの立上げなど新規事業の検討、各種PRに取り組みました。

また、平成30年度から受託する羽村市生活支援サービス事業の開始に向け、羽村市主催の「生活支援サービス家事サポート研修」の受講など福祉・家事援助サービスの拡充に努めました。

さらに、地域貢献事業として、地域班が主体となり、市内清掃活動、小学校通学児童見守りボランティア活動などに取り組みました。

以上、平成29年度の事業実施結果の概要といたしますが、事業計画で定めた個々の事業実施結果については、次ページ以降のとおりといたします。

Ⅱ 事業実績

1 会員の異動状況

平成 29 年度		平成 30 年 3 月末 会 員 数	前 年 度 比
入会者	退会者	651 人 (男 420 人 女 231 人)	△28 人 (△4.1%) (男 15 人 女 13 人)
58 人	86 人		
男 36 人 女 22 人	男 51 人 女 35 人		

2 事業実績

(1) 受託事業 (請負)

項 目	実 績	前 年 度 比
受 託 件 数	5,019 件 (公共 541 件 民間 4,478 件)	△151 件 △2.9%
契 約 金	235,541,512 円	△46,196,070 円 △16.4%
	公共 112,369,742 円 民間 123,171,770 円	
配 分 金	215,053,554 円	△43,701,995 円 △16.9%
就業延実人員	17,280 人	△448 人 △2.5%
就業延日人員	71,128 人	△6,487 人 △8.4%
公 民 比	47.7 : 52.3	公共 8.8pt 民間△8.8pt
就業実人員	551 人	△50 人 △8.3%
就 業 率	84.6%	△3.9 ポイント

(2) 労働者派遣事業

項 目	実 績	前 年 度 比
受 託 件 数	7 件 (公共 0 件 民間 7 件)	
契 約 金	21,330,848 円	
	公共 0 円 民間 21,330,848 円	
賃 金	15,891,502 円	
就業延実人員	32 人	
就業延日人員	3,232 人	
公 民 比	0 : 100	
就業実人員	32 人	
就 業 率	4.9%	

Ⅲ 事業の実施状況

1 会員の増強

シルバー人材センター事業を広く市民等に理解してもらうため、次の事業を実施し会員増強に努めました。

(1) センターPRの強化

シルバーだよりなどの広報やホームページによるPR、会員の口コミによるPR等を推進しました。

事業名	実施結果	備考
① 新規会員獲得運動	会員増強のための「1人1会員入会運動」事業を実施した。	新規入会キャンペーンとして、平成29年5月～平成30年3月まで「1人1会員入会運動」を実施した。実績8名
② 町内会・長寿会等での勧誘	広報部会で検討したが、町内会長会議に諮った上で、一律に行った方が良いとの結論から実施しないこととなった。	平成30年にシルバー事業PRチラシの全戸配布を行うこととした。
③ 『シルバーだより』『女性部会だより』の発行	『シルバーだより』 会員・発注者向け…5月、10月 市内全戸配布…8月、1月 『女性部会だより』 市内全戸配布…9月 会員・発注者向け…3月	会員及び市民に配布し、会員への情報の提供やシルバー人材センター事業の活動状況を広く周知した。
④ 会員による会員募集チラシのポスティング	市内全域に「会員募集チラシ」を配布した。	
⑤ ホームページの活用	ホームページについて、「会員専用ページ」内に「就業期間満了先就業情報を掲載したほか、新しい情報の発信など随時更新し、内容の充実に努めた。	更新回数 延26回
⑥ 「シルバーふれあい祭り」の実施	9月9日、10日実施 参加者839名	市民との交流を図るとともに、シルバー人材センター事業への理解とPRに努めた。
⑦ 市などが主催するイベント等への参加	チューリップ祭り 4月5日～23日 羽村市にじいるフリーマーケット 10月15日 産業祭 11月4日、11月5日	シルバー人材センター事業の紹介やPR活動を行いつつ、就業開拓や会員の入会の促進を図った。

事業名	実施結果	備考
⑧ 市広報等への掲載依頼	市広報等に入会説明会や各種講習会及び各種教室のお知らせを掲載した。	掲載延回数 9回

(2) 入会説明会の充実

事業名	実施結果	備考
入会説明会の充実	毎月2回 1日・15日(基準日) (うち1回は地域で開催) 入会説明会 86名 (うち地域説明会出席者 13名) 入会者 54名 (うち地域説明会出席者 4名) 【女性対象入会説明会】 ※人数は上記に含まれています。 5月29日開催 出席者 3名 入会者 1名 10月30日開催 出席者 6名 入会者 3名	羽村市 SC 用の入会説明会用 DVD を使用するとともに、会員の体験談などを加え、また、今年度から本格的に実施した「派遣事業」についても、「就業承諾書」を利用し、わかりやすい説明になるよう努めた。

(3) 就業相談の充実

事業名	実施結果	備考
就業相談の充実	毎月2回1日・理事会翌日(基準日) (うち1回は地域で開催) に役員による就業相談を開催した。 相談者 18名 (うち地域開催出席者 3名)	地域での就業相談については、地域班の役割として位置づけ、地域班長が会員就業相談員となり、就業相談を行うこととした。

(4) 福祉・家事援助、育児支援分野の仕事の開拓等

今後、受注が伸びると思われる福祉・家事援助、育児支援分野を推進し、女性の就業場所の拡大を図り、女性会員の増強に努めました。

事業名	実施結果	備考
① 会員コーディネーターの設置	会員コーディネーターを2名設置(継続)した。	受注内容に適した会員をコーディネートし、家事援助事業の円滑な運営を図った。
② ワンコイン事業の推進	受注件数 39件 就業延人員 172人日	市内にお住いの70歳以上の高齢者で構成する世帯及び障害者世帯を対象にPRを行った。
③ 福祉・家事援助サービス事業推進委員会の開催	年5回開催	福祉・家事援助サービス事業を推進するための検討を行った

事業名	実施結果	備考
④ 女性会員の増強	<p>女性対象の入会説明会を開催した。(再掲)</p> <p>5月29日開催 出席者3名 入会者1名</p> <p>10月30日開催 出席者6名 入会者3名</p>	<p>ロコミ、PRチラシ、会報、ホームページ、新規会員獲得運動等創意工夫して、女性会員の勧誘に努めた。</p>
⑤ 育児支援事業の充実	<p>「育児支援サービス研修会」</p> <p>2月14日開催 参加者15名</p>	<p>専門講師を招き、育児支援に関する研修を行った。</p> <p>また、市内保育園に育児支援サービスPRチラシを配布するとともに、家事援助班が作製したバスマットや雑巾を寄付した。</p>
⑥ 家事援助班グループ会員交流会の実施	<p>6月7日開催 参加者21名</p> <p>8月9日開催 参加者10名</p> <p>10月11日開催 参加者13名</p> <p>1月17日開催 参加者26名</p>	<p>家事援助事業実績報告、就業についての問題、悩み等の意見交換及び、会員相互の情報交流を行った。</p>
⑦ 家庭内清掃研修	<p>10月31日開催 参加者9名</p>	<p>就業会員を講師とし、実務を含めた研修を実施し、家事援助サービス就業会員の技術の向上を図った。</p>
⑧ 手芸講習会(手芸班)	<ul style="list-style-type: none"> ・「アオバズクづくり」 6月7日 参加者12名 ・「小手まりの根付づくり」 8月9日 参加者10名 ・「干支の押絵づくり」 11月29日 参加者10名 ・「ミニひな人形づくり」 1月31日、2月7日 参加者14名 	<p>市民、会員向けに手芸品作りの講習会を実施した。</p>
⑨ ふれあい体験講座	<p>「苔玉づくり」</p> <p>7月7日 参加者20名</p>	<p>会員の文化活動の推進を図るとともに、シルバーふれあい祭りに作品を展示し、市民へPRした。</p>
⑩ 健康講座	<ul style="list-style-type: none"> ・「男が教える簡単料理」 6月16日 参加者19名 ・「楽しく体を動かそう」 12月11日 参加者14名 	<p>健康に関する講義と料理実習を実施しました。また、会員同士の交流と、健康への意識の向上を図った。</p>

事業名	実施結果	備考
⑪ 羽村市の生活支援サービス事業への参画	羽村市生活支援・介護予防サービス体制整備協議体会議にセンター職員が協議体委員として参画した。5月15日、9月26日、1月29日 また、生活支援サービス事業開始に備え、会員が羽村市主催の「生活支援サービス家事サポーター研修」を受講した。 12月12日・13日（7名参加）、2月20日・21日（8名参加）	羽村市及び関係団体と、円滑な事業運営を行うための協議を進めた。

(5) 女性会員活動啓発のためのボランティア活動の実施

ボランティア活動を通じ、地域社会に貢献するとともに、多世代間交流の機会づくりを拡充し、女性会員の生きがいの充実を図りました。

事業名	実施結果	備考
女性会員活動啓発のためのボランティア活動	会員各自が持ち寄ったタオルやバスタオルを材料に、家事援助班が雑巾やバスマットを作製し、市内の保育園へ寄付した。	新たな女性会員活動の1つとして、家事援助班が作製した雑巾等を市内の保育園へ寄付するボランティア活動を行った。

(6) 会員の退会防止

高齢化する会員等の退会防止に努めました。

事業名	実施結果	備考
退会しなくてもよい制度の検討（継続）	総務部会において、ゴールド会員制度や休会制度を検討したが、効果が期待できないと結論づけた。このことから、他の制度を検討する中で、未就業会員の解消や会員へのタイムリーな就業情報の提供（メール一斉送信）等により、会員満足度の向上を図り、退会抑止へ繋げる事業を企画し、平成30年度に事業化することとした。	

2 事業実績の拡大

シルバー人材センター事業を広く市民等に理解してもらうため、次の事業を実施し就業の拡大や開拓に努めました。

(1) 就業の開拓

事業名	実施結果	備考
① 就業開拓強化月間の設定	就業開拓強化月間を設定した。 10月、2月	強化月間では、役員等による企業訪問を行い、就業開拓に努めた。
② 会員からの企画提案事業の募集	7月にアイデア募集のお知らせを全会員へ配布しました。 提案件数0件	センターに提案箱を設置し、会員からの企画提案事業を募集した。(メール可)
③ シルバー人材センター一般労働者派遣事業の実施(新規)	平成29年4月から派遣事業が本格的に実施され、会員が7つの事業所で就業した。	受注件数 7件 就業実人員 32人 就業延人員 3,232人 就業率 4.9% 契約金額 21,330,848円
④ 女性会員による「除草チーム」の立ち上げ(新規)	女性に親しみを持ってもらうため、名称を「園芸チーム」とし、2月13日に希望会員向けの説明会を開催(7名参加)し、「園芸チーム」(11人)を立ち上げた。	
⑤ 既受注先への受注拡大	役員、就業開拓推進委員、職員による既受注先訪問を行ったが、受注には至らなかった。(18件)	
⑥ 新規受注先の開拓	・チューリップ祭りで、広報部会委員がPRチラシ、クリアファイルを400セット配布しました。(4月5日～4月23日) ・羽村市産業祭で、家事援助PRチラシ(3,200枚)を配布した。(11月4日、11月5日) ・派遣事業を踏まえた企業訪問を役員、就業開拓推進委員が行った。 (4月・3事業所、8月～11月・22事業所 新規受注4件)	関係各所へのセンターPRチラシの配布や役員による事業所訪問や就業開拓推進委員による新規就業先の開拓を行った。
⑦ 「会員一人ひとりが営業マン」活動の実施(新規)	植木班各班長、除草班各班長、家事援助班長(計8名)及び活動に協力する会員が「営業マン用名刺」を就業先近辺のお宅に配布し、就業開拓を行った。	受注先の新規開拓に役立てた。
⑧ 町内会・自治会、高齢者団体等へのPR	町内会主催イベントで、シルバー事業のPRや「包丁研ぎ」の実演を行った。 12月3日 本町第一町内会 東第二町内会 12月10日 東第一町内会	

事業名	実施結果	備考
⑨ 就業開拓委員会の開催	シルバー人材センター一般労働者派遣事業の本格実施に伴い、より一層の会員の就業機会の拡大を図るための検討を行った。 年5回開催	就業開拓委員会の開催回数を増やし、就業開拓に関する議論の時間を増やした。

(2) 就業のアンマッチの解消

会員の希望業種と利用者の受託業務のアンマッチを解消するため、就業機会の確保及び新たな就業機会の創出に努めました。

事業名	実施結果	備考
① 技能講習会の実施	「植木剪定研修」 3月1日 参加者17名	技能系職種に関する知識・技能を後継会員への継承のための講習会として位置付けた。
② 事務系職種の就業拡大・開拓	就業開拓員を中心にハローワークや新規発注先、既発注先に出向き、事務系職種の就業開拓を行ったが、発注者が負担する事務委任手数料の負担増が敬遠され、事務系職種の受注実績には至らなかった。	
③ 人材情報バンクの整備	平成29年2月に実施した「会員状況調査」に基づき、資格や希望職種等の会員情報の整備を行い、東京しごと財団が実施する「人材情報バンク」に各会員の資格に関する情報を登録した。	会員の資格情報の整備を行ったことで、各会員の資格情報を把握することができ、就業開拓にも役立てた。

(3) 自主事業

① 各種教室

会員の持つ知識や経験を活かした自主事業を実施しました。

事業名	実施結果	備考
① パソコン教室	受講者 延449名 (H28 延379名)	市報や「シルバーだより」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
② 生花教室	受講者 延304名 (H28 延256名)	「シルバーだより」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。

事業名	実施結果	備考
③ 補習教室	受講者 延 160 名 (H28 延 91 名)	市報や「シルバーだより」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
④ 理科・数学教室	受講者 延 45 名 (H28 延 0 名)	市報や「シルバーだより」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑤ 着付け教室	受講者 延 47 名 (H28 延 50 名)	市報や「シルバーだより」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑥ 絵手紙教室	受講者 延 67 名 (H28 延 68 名)	市報や「シルバーだより」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑦ 英会話教室 (入門)	受講者 延 98 名 (H28 延 147 名)	市報や「シルバーだより」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑧ 英会話教室 (初級)	受講者 延 177 名 (H28 延 0 名)	市報や「シルバーだより」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑨ ならし英語教室	受講者 延 6 名 (H28 延 95 名)	市報や「シルバーだより」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。

②リサイクル事業

羽村市のごみの減量及び再使用に関する市民意識の高揚を図るとともに、会員の就業の場を提供しました。

事業名	実施結果	備考
リサイクルショップ「トコトン工房」の充実	販売点数 3,217 点 (H28 3,328 点) 売上金 1,269,800 円 (H28 1,299,000 円)	市主催のイベントに参加するなど、PRに努めた。

3 安全就業の確立

会員が健康で安全に就業できるよう、就業中の事故或いは就業途上における交通事故等の防止を図るため、安全対策を推進しましたが、傷害事故6件、賠償事故8件が発生しました。

(1) 安全管理体制

事業名	実施結果	備考
① 安全・適正就業推進委員会の開催	5月16日、6月16日、8月25日、12月20日、2月6日 年5回開催	安全管理の方針の検討や対策、適正就業について協議した。
② 財団等の安全対策会議との連携	第六ブロックの安全就業推進委員会において、「第六ブロック安全申し合わせ事項」の看板を作成し、センター車庫棟へ設置した。 3月 第六ブロックの「安全就業研修会」に参加した。 9月8日 参加者 3名 シルバー人材センター安全大会に出席し、他センターの安全の取組みを取り入れた。 9月29日 参加者 3名	事故ゼロを目標に、東京しごと財団や第六ブロックのセンターと様々な機会を捉えて、連携を図った。

(2) 安全教育、安全意識・適正就業の普及啓発

事業名	実施結果	備考
① 安全標語の募集	4月実施 応募点数 23点 1月実施(連合) 応募点数 23点	優秀作品を毎月の安全目標に設定し、センター内に掲示すると共に、配分金明細書にも同封し、安全就業の啓発に努めた。
② 「ヒヤリハット体験」の募集	6月、10月 応募点数 0点	危険情報の共有化を図り、事故防止に役立てるために募集を行った。
③ 安全就業強化週間等の実践活動	・安全就業強化週間…毎月1日～7日に立看板の掲出 ・安全強化月間朝礼…7月3日 ・交通安全週間…4月、9月にのぼり旗等の掲出	会員の就業中及び就業途上等の事故防止、安全意識の高揚を図った。
④ 各種講習会・講座の開催等	・熱中症予防講習会 7月7日開催 参加者 23名 ・転倒予防講習会 9月25日開催 参加者 11名 ・応急救護等講習会 2月27日開催 参加者 12名 ・体力測定 3月20日開催 参加者 12名	各種安全講習会を開催し、安全意識の高揚を図った。

事業名	実施結果	備考
⑤ 危険予知訓練の実施	8月9日開催 参加者10名（家事援助班）	事故や災害を未然に防ぐことを目的に、その作業に潜む危険を予知し、指摘しあう危険予知訓練を実施した。
⑥ 機械・器具類の安全操作及び整備点検講習会と作業用機械器具点検表を用いた一斉点検の実施（新規）	・バリカンの正しい使い方研修 8月7日開催 参加者15名 ・刈払機作業従事者安全衛生教育講習 9月8日開催 参加者1名 ・植木班と除草班による作業用機械器具点検表による一斉点検の実施（7月・1月）	専門講師による講習会に参加したほか、センターで講習会を開催しました。また、植木班と除草班が作業用機械器具点検表を用いた機械器具の一斉点検を行い、作業用機械器具等の経年劣化及び点検不備に起因する事故の未然防止に役立てた。
⑦ 植木剪定作業等の受注制限基準の作成（新規）	就業に伴う傷害事故や賠償事故を未然に防止するため、センターが受注する作業に関して、「受注制限基準」を作成し、理事会で承認された。（10/25）	
⑧ 作業別安全就業基準の見直し（新規）	家事援助作業に関する安全就業基準を新規作成し、理事会で承認された。（10/25）	「家事援助作業安全就業基準」を家事援助就業会員に周知し、より一層の安全就業の啓発に努めた。
⑨ 安全・適正就業巡回	4月28日、5月26日、6月12日、7月21日、9月21日、10月19日、11月21日、1月18日、2月21日、3月9日 10回実施	就業現場を巡回し、安全意識の啓発と適正就業の点検を行った。
⑩ 安全・適正就業推進委員会だよりの発行	6月（第10号）、7月（第11号）、10月（第12号）、2月（第13号）、3月（第14号）発行	会員向けに「安全・適正就業推進委員会だより」を発行し、安全・適正就業の推進や、事故防止等の喚起を促した。
⑪ 適正就業意識の啓発	安全・適正就業巡回時に、会員及び発注者に対し、安全就業のチェックと呼びかけ及び適正就業の点検を行った。	本年度は特に厚生労働省が作製した「適正就業ガイドライン」に基づき、適正就業について会員及び発注者に説明し、適正就業意識の啓発に努めた。
⑫ SOSカードの携帯の徹底	安全・適正就業巡回時にSOSカードの携帯の確認及び入会説明会での配布を行いました。また、シルバーだより第122号でもSOSカードの携帯徹底記事を掲載した。	

4 就業の改善

(1) 未就業会員の解消

公共団体、民間企業、家庭及び関係団体等に、高齢者の就業機会の確保についての理解を求めるとともに、就業相談の充実など会員の就業率向上を図るため次の活動を行いました。

事業名	実施結果	備考
① 新規就業希望会員説明会の開催	・継続就業希望会員説明会 …1月11日、12日実施 (参加者16名)	未就業会員を対象とすることで、公平な就業機会の提供に努めた。
② 役員による就業相談(再掲)	毎月2回1日・理事会翌日15日(基準日)(うち1回は地域で開催)に役員による就業相談を開催した。相談者24名(うち地域出席者2名)	地域での就業相談については、地域班の役割として位置づけ、地域班ごとに会員就業相談員が行うこととした。

(2) ワークシェアリングの推進

発注者及び会員の理解を得ながら、出来るだけ多くの会員に就業の機会が得られるようワークシェアリングの推進に努めました。

事業名	実施結果	備考
ワークシェアリングの推進	年間4名の就業人員増を図った。	ワークシェアリングを推進する為、発注者と会員に理解・協力を求め、調整を行った。

(3) 適正就業の推進

法令遵守の徹底を図り、受注内容の点検や発注者及び会員への啓発に努めました。

また、会員の資質の向上や技能を高めるための各種の研修を行い、就業拡大につなげました。

事業名	実施結果	備考
① 就業基準対象者等の意向調査(再掲)	・未就業会員等就業意向調査 …12月実施 ・就業期間満了会員就業意向調査…12月実施	就業基準に基づく対象者に対し、就業意向調査を行い、就業の適正化を図った。
② 安全・適正就業推進委員会の開催(再掲)	5月16日、6月16日、8月25日、12月20日、2月6日 年5回開催	安全管理の方針の検討や対策、適正就業について協議した。

事業名	実施結果	備考
③ 安全・適正就業巡回 (再掲)	4月28日、5月26日、6月12日、7月21日、9月21日、10月19日、11月21日、1月18日、2月21日、3月9日 10回実施	就業現場を巡回し、安全意識の調査と適正就業の点検を行った。
④ 適正就業意識の啓発 (再掲)	会員及び発注者へ安全・適正就業巡回時に各就業現場で適正就業の点検及び呼びかけを行った。	会員及び発注者に「適正就業ガイドライン」に基づき、適正就業について説明し、適正就業意識の啓発に努めた。
⑤ 新入会員研修	毎月1回 参加者 55名	センターの事業趣旨、会員の心得、ボランティア活動等についての研修を行った。
⑥ 機械・器具類の安全操作及び整備点検講習会と作業用機械器具点検表を用いた一斉点検の実施 (再掲)	・バリカンの正しい使い方研修 8月7日開催 参加者 15名 ・刈払機作業従事者安全衛生教育講習 9月8日開催 参加者 1名 ・植木班と除草班による作業用機械器具点検表による一斉点検の実施 (7月・1月)	専門講師による講習会に参加したほか、センターでの講習会を開催した。
⑦ 家庭内清掃研修 (再掲)	10月31日 参加者 9名	就業会員を講師とし、実務を含めた研修を実施し、家事援助サービス就業会員の技術の向上を図った。
⑧ 接遇研修	10月13日開催 参加者 20名	専門講師による、接遇に関する研修を実施した。
⑨ 育児支援サービス研修 (再掲)	「育児支援サービス研修会」 2月14日開催 参加者 15名	専門講師を招き、育児支援に関する研修を行った。

(4) 東京都第6ブロックが主催する研修会への参加

事業名	実施結果
① 安全就業研修会	9月8日 参加者 2名 場所 立川市 SC
② 三役研修	2月8日 参加者 2名 場所 立川市 SC

(5) 東京しごと財団主催の研修会等への参加

事業名	実施結果
① 植木剪定就業安全研修会	4月4日 参加者 3名 場所 東京しごとセンター
② 職員研修 「総会運営について」	4月28日 参加者 1名 場所 東京しごとセンター

事業名	実施結果		
③ 職員研修 「情報セキュリティ対策」	6月7日	参加者1名	場所 東京しごとセンター
④ 自動車運転講習	6月20日	参加者3名	場所 飛鳥ドラビングカレッジ
⑤ 育児支援サービス担当者研修	6月30日	参加者1名	場所 東京しごとセンター
⑥ 新任安全管理委員勉強会	7月7日	参加者3名	場所 国分寺労政会館
⑦ 職員研修 「リーダーシップ研修」	7月14日	参加者1名	場所 東京しごとセンター
⑧ 新任理事研修	7月21日、8月4日開催 場所 東京しごとセンター	参加者7名	
⑨ 安全リーダー研修	7月28日	参加者1名	場所 国分寺労政会館
⑩ 転倒予防勉強会	8月9日、2月14日 場所 東京しごとセンター	参加者2名	
⑪ 職員研修 「課題改善研修」	8月23日、11月16日、2月14日 場所 東京しごとセンター	参加者1名	
⑫ 職員研修 「マッチングにつながる面談術」	8月28日	参加者1名	場所 東京しごとセンター
⑬ 就業開拓勉強会	9月15日	参加者1名	場所 国分寺労政会館
⑭ 安全大会	9月29日	参加者3名	場所 東京しごとセンター
⑮ シルバー人材センターフォーラム	11月7日	参加者3名	場所 東京しごとセンター
⑯ 職員研修 「人権非行防止・個人情報」	11月22日	参加者1名	場所 東京しごとセンター
⑰ 職員研修 「ハードクレーム」講習	12月11日	参加者1名	場所 東京しごとセンター
⑱ ちょこっと共済説明会	12月13日	参加者1名	場所 国分寺労政会館
⑲ 役員研修 「経営管理」	1月10日	参加者2名	場所 東京しごとセンター
⑳ 生活支援サービス研修	1月15日、16日、19日、22日、3月5日 場所 東京しごとセンター	参加者1名	
㉑ 職員研修 「総会運営・事前準備のポイント」	1月17日	参加者1名	場所 東京しごとセンター
㉒ 職員研修 「決算実務」	1月22日	参加者1名	場所 東京しごとセンター

5 社会奉仕等の推進

ボランティア活動を通じ、地域社会に貢献するとともに、会員の生きがいの充実やセンターの認知度と評価を高めました。

事業名	実施結果	備考																					
① 市内清掃ボランティア活動	第1回 6月6日実施 参加者 168名 第2回 12月6日実施 参加者 160名	会員による市内清掃ボランティアを行った。																					
② 市内小学校通学児童見守りボランティア活動の活性化	会員による小学校通学児童見守りボランティア活動を地域班単位で行った。 (週1回～5回) 実施小学校：羽村東小学校、羽村西小学校、富士見小学校、栄小学校、小作台小学校	見守りボランティア活動を支援する為、助成金を4月に交付した。 ◎各地域班の活動実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実人員</th> <th>延人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1班</td> <td>16名</td> <td>332名</td> </tr> <tr> <td>2班</td> <td>11名</td> <td>320名</td> </tr> <tr> <td>3班</td> <td>5名</td> <td>174名</td> </tr> <tr> <td>4班</td> <td>13名</td> <td>949名</td> </tr> <tr> <td>5班</td> <td>17名</td> <td>192名</td> </tr> <tr> <td>6班</td> <td>8名</td> <td>159名</td> </tr> </tbody> </table>		実人員	延人員	1班	16名	332名	2班	11名	320名	3班	5名	174名	4班	13名	949名	5班	17名	192名	6班	8名	159名
	実人員	延人員																					
1班	16名	332名																					
2班	11名	320名																					
3班	5名	174名																					
4班	13名	949名																					
5班	17名	192名																					
6班	8名	159名																					
③ 市事業等へのボランティア協力の検討	「放課後子ども教室」へのボランティア登録を推進した。																						

6 財源の確保

自主財源確保のための高齢者活用・現役世代雇用サポート事業補助金の活用を図ったほか、受注拡大、業務の効率化、経費節減による安定した財政運営を推進しました。

事業名	実施結果	備考
① 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業補助金」の確保	東京しごと財団を通じて、「高齢者活用・現役世代サポート事業補助金」の申請を行った。 交付決定額 2,800 千円	
② 「福祉・家事援助コーディネーター設置助成金」の確保	東京しごと財団へ、「福祉・家事援助コーディネーター設置助成金」の申請を行った。 交付決定額 482 千円	
③ シルバー派遣事業の実施	シルバー派遣事業実施に伴い、羽村派遣事業所を設置し、東京しごと財団と事務委任契約を結び手数料収入を得た。 (2,218,418 円)	
④ 自主財源確保のための受注の拡大、業務の効率化、経費節減による安定した財政運営の推進	節電の実施や業務委託契約の見直しを行い、経費節減に努めた。	

7 組織の充実

理事会を中心に公益法人としての組織運営、財政基盤の確保やセンターにおける就業の適正化を推進するため専門部会等の活動に対する協力、助言等を行い、公益法人としての運営体制の充実に努めました。

(1) 理事会、各部会、委員会等の開催

事業名	実施結果	備考
① 定時総会	平成 29 年 6 月 29 日開催 ゆとろぎ小ホール	平成 28 年度決算について決議した。
② 理事会	年 13 回開催	毎月理事会を開催し、センター運営や業務執行等について審議した。
③ 総務・事業・広報部会	随時開催	センターの事業運営を効果的に推進するため、各部会を開催した。
④ 女性部会	年 7 回開催	女性会員増強・就業拡大に関すること及び技能向上、文化活動に関すること等について検討した。
⑤ 福祉・家事援助サービス事業推進委員会	年 5 回開催	福祉・家事援助サービス事業を推進するための検討を行った。
⑥ 連絡員会議	年 1 回開催	年会費の集金や地域会員との調整を行い、地域における会員間の交流を図った。
⑦ 地域班長会議	年 3 回開催	事業運営の情報伝達や要望・意見交換を行った。
⑧ 中期計画推進委員会	年 1 回開催	中期計画の進捗状況を検証し、一部目標数値を見直し、理事会に報告した。
⑨ 就業開拓委員会	年 5 回開催	シルバー人材センター一般労働者派遣事業の開始を踏まえ、派遣による会員の就業機会の拡大について検討した。
⑩ 仕事別グループ班リーダー会議・仕事別グループ連絡会	随時	仕事別グループ班リーダー会議を植木班・除草班・家事援助班・手芸班で行い、情報共有に努めた。

(2) 地域班への支援・地域班交流事業の実施

会員とセンターとの情報交換、地域社会でのセンターのPR活動、会員相互の親睦と交流等を円滑に行えるよう支援しました。

事業名	実施結果	備考
① 地域班活動への支援	地域班活動をより活性化するため、地域班助成金及び通学児童見守りボランティア助成金を4月に交付した。	地域班活動を支援することにより、地域班活動の活性化を図った。
② 地域班交流事業の実施	地域班交流事業「地域班対抗ペタンク大会」を行った。 3月16日(金) 参加者59名	地域班交流事業を通じて、各地域班及び会員間の交流をより深め、会員相互のつながりを一層強固なものにした。